

編 集 後 記

2,400誌が採択されている医学中央雑誌に、愛知県保険医協会の「明日の臨床」が加えられたのは、誠に同慶の至りである。1989年以来多忙な診療の合間に、編集作業に協力された編集委員会はもとより、投稿や依頼原稿に応じて下さった会員の方々のご尽力の賜物と、感謝する次第である。

本号は、癌の治療学と疫学（白血病治療の新展開、乳癌の早期発見の画像診断、癌患者との医療情報の共有、イラクの白血病患児の治療経験、湾岸戦争後のバスラにおける癌の発現頻度）のほか、婦人科的愁訴などの総説や解説、それに症例報告や資料など、学際的な構成となっている。カテゴリーも従来の原著、総説、症例報告、資料、医療活動報告に加えて、薬学領域からのオピニオン、さらに特別報告と多岐にわたり、どの領域からも、どのような視点からも、投稿が可能となるように配慮がなされている。

益々専門分化・細分化される臨床医学雑誌のトレンドに抗して、臨床医学のあらゆる領域が共存する雑誌となっていることが、本誌の特徴であろうか。専門外の領域のことも、診療の合間に垣間見たくなるような、記述が望まれる。もちろん症例報告などでは個人情報保護法を踏まえて匿名性により一層の配慮が必要となる。

今後の読者諸兄弟の関与によっては、臨床医学の統合的雑誌に成長発展する可能性も秘めている。すべての領域で活躍しておられる会員諸氏に、積極的な投稿をお願いする次第である。投稿形式も電子メールによる添付で可能となっている。都道府県単位の保険医協会で、こうした学術誌まで発刊しているのは、愛知県保険医協会だけとのことである。果たして明日の保険医協会の先取りなのか、ミュタントで終わるのか、という思いで編集委員に加わった途端に、後記を記すことになって、いささかの戸惑いを隠せない。

最後に、IraqのAsaad博士の寄稿も戴けたことは、反戦平和運動、人道支援そして高度医療が見事に融合した愛知保険医協会ならではの展開だと思う。関係者各位に心から敬意を表する次第である。

〔粥川裕平〕

編 集 委 員 (50音順 *印委員長)

額 田 協* 池 山 淳 杉 藤 徹 志
高 橋 英 世 松 本 美 富 士 粥 川 裕 平

(次号から編集委員長は杉藤徹志になります)

明日の臨床

Vol.17 No.1

2005年6月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

頒価 1,000円・発行部数 6,900部